

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和03年01月25日(月)

事務事業		産業立地関連促進事務		担当課	産業拠点整備室	担当係	拠点整備係	管理番号	2602	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務	→ 対象拡大 サービス拡充	有□ 有□		
	行計画 政画 分施 野策 別名	大項目	200003	活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）	根拠法令 個別計画 等	都市計画法、農振法、農地法、土地区画整理法、道路法、水道法、埼玉県雨水流出抑制給施設の設置等に関する条例、深谷市総合計画、深谷市都市計画マスタープラン等				
		中項目	200002	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり						
	小項目	200002	観光資源の整備と活用							
事業概要		雇用の創出及び自主財源の確保を目的として、工業団地の開発や産業拠点の整備などの企画立案及び進行管理を行う。特に花園ⅠC拠点地区については、土地区画整理の手法により、インフラ整備を中心とした重点的な事業として進めていく。工業団地開発については、開発可能な手法の検討を進める。								
目的 ※何のために		雇用創出及び自主財源確保のため								
対象 ※誰・何を対象に		花園ⅠC拠点地区 開発可能な一団の土地及び既存工業団地周辺								
手段 ※どのように		花園ⅠC拠点地区のインフラ整備は、主に道路、上下水道、造成であり、それらの整備に関する測量設計及び工事を実施する。工業団地開発は、既存工業団地周辺や新規開発地の洗い出しを行い、可能性調査を進める。								
成果 ※何を求めるか		産業拠点の整備推進及び工業団地開発の研究・検討								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 市職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（                      ）								
事務事業を構成する予算事業		会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
本事業の主な業務		・ 道路測量調査（H26～H29）				・ 造成測量（H27～H29）				
		・ 道路設計（H27～H30）				・ 造成基本計画（H27～H28）				
		・ 道路改良工事（R1～R3）				・ 造成実施計画（H28～H29）				
		・ 下水道計画（H26）				・ 造成工事〔調整池含む〕（R1～R3）				
		・ 推進工設計（H29）				・ 土地区画整理換地処分等（R4）				
		・ 配水管布設工事（H30～R2）				・				

## 2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画		道路設計、造成実施計画	測量設計業務、用地購入	造成工事、調整池設置工事	造成工事、道路改良工事	造成工事、道路改良工事	
		土地区画整理事業計画、換地設計	物件移転、配水管布設工事	道路改良工事	推進工事、踏切拡幅工事	公園整備工事、	
		駅ロータリー築造工事	駅ロータリー工事	物件移転 仮換地指定	物件移転	デジタルサイネージ設置	
事業費	予算（現額）	816,180,200	322,118,440	1,445,728,233	1,594,087,000	2,341,302,000	
	決算額	557,720,884	115,086,316	854,898,192	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	398,100,000	53,500,000	109,030,000	637,300,000	1,198,800,000
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	159,620,884	61,586,316	745,868,192	956,787,000	1,142,502,000	
人件費	従事職員数(人)	5.65	5.30	5.05	5.10	5.10	
	人件費相当試算 ※1	43,951,350	41,244,600	40,930,250	41,335,500	41,554,800	
		0	0	0	0	0	
(総事業費試算)		601,672,234	156,330,916	895,828,442	1,635,422,500	2,382,856,800	

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

# 事務事業評価表

## 3. 評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値 実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
	成果指標 1	道路の整備率	目標値 実績値	%	0.00 0.00	0.00 0.00	20.00 8.95	60.00 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		事業の進捗に合わせた目標地の設定							
		道路整備費		／							
	成果指標 2	配水管布設率	目標値 実績値	%	0.00 0.00	83.10 74.30	100.00 74.30	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		事業の進捗に合わせた目標値の設定							
		配水管布設延長		／							
	成果指標 3	造成実施率	目標値 実績値	%	0.00 0.00	0.00 0.00	20.00 13.93	60.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	□
年度別目標値の設定根拠		事業の進捗に合わせた目標値の設定									
造成費		／									
		目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□	
	年度別目標値の設定根拠										
			／								
		目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□	
	年度別目標値の設定根拠										
			／								
		目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□	
	年度別目標値の設定根拠										
			／								

## 4. 観点別評価 (A: 目標値どおり (以上) B: ほぼ目標値どおり C: 目標未達成 - : 目標値の設定がないもの)

活動 (意図した活動を行っているか)		目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明
成果 (意図した成果が上がっているか)	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 契約締結となった道路及び造成工事は現場に着手し、概ね計画どおりに進捗している。
効率性 (効率的に事務を行っているか)		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
評価者		拠点整備係 若杉 剛

## 5. 前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

# 事務事業評価表

## 6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	産業立地関連促進事務	担当課	産業拠点整備室	担当係	拠点整備係	管理番号	2602
<div><div><input type="checkbox"/> ① 現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ② 見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ③ 拡充・重点化（コスト投入）</div><div><input type="checkbox"/> ④ 目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤ 廃止を検討</div></div> <div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div> <div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div>			評価の内容説明				
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？			評価者 産業拠点整備次席特命監 三浦 聖樹				

拠点オープンに向け、十分な調整がなされ、概ね計画どおりに工事が進められている。

## 7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	
--------	--

## 8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	造成工事の着手に伴い、盛土材の確保が事業の進捗に影響するため、UCR及び独自調査の結果を基に近隣工事の発生土を有効に活用できるように、工事間の連絡調整を密に行う必要がある。
-------	--

## 9. 評価指標グラフ

